



## ゆき けっしょう 雪の結晶はどうしてできるの

### ゆき けっしょう ろっかくちゅう 雪の結晶は六角柱

すい き くうき そらたか あ ひ どスー いが ゆき かく  
水じょう気をふくんだ空気が空高く上がって冷やされ、0度C以下になると、雪の核に  
なるねん土のつぶや塩のつぶ(1センチメートルの1万分の1の大きさ)にとらえられて  
こり けっしょう ひょうしょう  
氷の結晶(氷晶)になります。

けっしょう ろっかくちゅう ちじょう お とちゅう すい き むす  
この結晶は六角柱をしていて、これが地上に落ちていく途中で、水じょう気と結びつき  
おお ろっかくちゅう うつ ゆき けっしょう  
だんだん大きくなって、六角柱をした美しい雪の結晶になるのです。

けっしょう かんさつ むし けんびきょう かんさつ ゆき  
結晶の観察は、虫めがねや顕微鏡でします。観察するときは、雪はすぐにとけてしま  
りけつ どスー りけつ どスー ばしょ おな  
ので、-5度Cから-10度Cくらいの場所で行います。

ちじょう ふ ゆき て しろ こな み  
地上に降った雪を手にとってみると、白い粉のかたまりのようにしか見えませんが、こ  
ゆき ふ あだ たいきちゅう けっしょう えだ お うつ  
れは、雪が降ってくる間に、大気中のごみがついたり、結晶の枝が折れたりして、美しい  
かた おお  
形をしていないことが多いからです。

### ゆき てん てがみ 雪は天からの手紙

かがくしゃ なかやうきちろうはかせ ゆき てん おく てがみ ことば  
科学者・中谷宇吉郎博士に「雪は天から送られてきた手紙である」の言葉があります。  
なかやはかせ じんこうてき ゆき けっしょう つく けっか けっしょう かたき おん ふか かんけい  
中谷博士は人工的に雪の結晶を作ってみた結果、結晶の形と気温に、深い関係があること  
はっけん  
を発見したのです。

きおん りけつ どスー はりじょう りけつ どスー ほしじょう りけつ どスー いが かくちゅうじょう  
気温が-5度Cくらいでは針状、-15度Cでは星状、-22度C以下では角柱状、つ  
じょう けっしょう  
ぶみ状の結晶ができます。(監修 村山貢司)

